

平成30年度 第3回 子ども権利委員会 会議録

- I. 開催日時：平成31年1月29日（火） 15：00～16：30
- II. 場 所：名張市役所 2階 庁議室
- III. 出席者：子ども権利委員会 委員長、委員 5名
事務局：福祉子ども部長、子ども家庭室長、子ども家庭室員2名
保育幼稚園室長、保育幼稚園室員1名、子ども相談員
- IV. 内 容：1. 挨拶
2. 議事
(1) 子ども・子育て支援法に基づく利用定員の協議について
(2) 第二期名張市子ども・子育て支援事業計画(ばりっ子すくすく計画第4章)策定の進捗状況について
(3) ばりっ子会議から市政への提言について
(4) その他

【質疑・意見交換】（委：委員長 ○：委員 ⇒：事務局）

1. 挨拶

皆様、お忙しい中、第3回子ども権利委員会にご出席いただきましてありがとうございます。名張市では子ども子育ての支援施策について、待機児童の対策、放課後児童クラブの充実が求められていますが、施設の整備と併せて人材の確保も大きな課題となっております。10月からの消費税引き上げに伴い、幼児教育、保育の無償化が予定されています。3歳から5歳までの保育所、幼稚園、認定こども園の子どもと、0歳から2歳の住民税非課税世帯の子どもが無償化され、名張市も対応していきたいと考えております。また、それにより31年度の保護者のニーズも変わってくるのではないかと思います。そうした中で、皆様からのご意見等をいただきながら進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

2. 議事

- (1) 子ども・子育て支援法に基づく利用定員の協議について（資料1）

＊事務局説明 ＜省略＞

委 ありがとうございます。全国的に、毎年保育士の確保が難しいという事を聞いているのですが、名張市あるいは伊賀地域ではどのような現状でしょうか。
⇒ 施設の受け入れ枠は広がりましたが、定員を満たしていない施設もあります。

保育士が確保できていれば、受け入れが可能になるかとも思うところです。今年度は、就職フェアの時期を例年の8月から5月下旬の開催へと見直しました。学生さんたちの関心の高い時期であり、就職フェアへの参加人数も増えました。また、それをきっかけに各法人への雇用につながってきているところです。すべて解消とはいきませんが、多少の効果はあったと考えています。

〔委〕 保育士資格を持っておられるのに退職され、再就職を考えている方の掘り起しは対策されていますか。

⇒ その就職フェアに、三重県内で人材登録センターとして機能している三重県社会福祉協議会やハローワークにも参画いただき、潜在保育士への働きかけを行っており、数名の方にご参加いただきました。パートとして、就職につながった方もいらっしゃいます。

⇒ これは名張市独自の取り組みとして、公立だけではなくて、民間の保育事業を担っていただいている社会福祉法人、事業所、企業合同で説明会、就職フェアをはじめ4年目になります。また、このような取り組みを知ってもらうために、関西方面の保育関係の大学にも説明に行かせていただきたいと思います。

〔委〕 よろしくをお願いします。他にご質問、ご意見ありませんか。先ほど保護者のニーズが変わってくるとのお話がありましたが、保育所の選択はどうですか。

⇒ 学校区内あるいは、通勤に便利なところを選択されていると感じていますが、通勤途中にあるところを希望される方も多くなっています。伊賀市方面に通勤される方が多いので中心部から東寄り、または北寄りの園のニーズが高まっている現状があります。

〔委〕 学童保育（放課後児童クラブ）も偏りがあると聞きます。

⇒ サテライト方式といって、朝、一か所に集めてそこから送迎バスで空いているところへ送る、というのを研究しているところですが、低年齢児は送迎バスを使う事が難しいということがあり、苦慮しているところです。引き続き研究させていただきます。

〔委〕 他にありませんか。それでは次の事案にまいります。

（2）第二期名張市子ども・子育て支援事業計画（ばりっ子すくすく計画第4章）策定の進捗状況について（資料2）

＊事務局説明 ＜省略＞

〔委〕 調査票の選択肢を見ると、母子家庭とか、父子家庭はあるのですが、里親家庭の方が回答する場合の選択肢が不明確で、回答が難しい。里親制度がもっと普及していけばいいと思うので、このあたり考慮していただきたい。また、里親家庭へのアンケート等の郵送については、宛名や子どもの指名表記などに十分な配慮が必要であると思います。

⇒ アンケートの対象は無作為で抽出していますので、名簿のレイアウトが上がった時点で確認させていただいていますが、里親家庭の部分までは考えが至りませんでした。アンケート調査は、市でも多岐に渡ってさせていただいておりますので、こういう情報は私どもの部署から発信し、情報を共有していく必要があると思います。

○ 桔梗が丘小学校の放課後児童クラブは、3年生以上は入れない。桔梗が丘小学校は、児童が多いのは良いのだけれど、面積が小さいので場所がない。空き教室もない。

⇒ 去年の1月に調査をしたら、児童数は名張市全体では今後10年で減っていく傾向にあるのですが、名張小、蔵持小、箕曲小では予想を上回る利用希望があり、再度検討をしていかななくてはならないと思います。ですが、施設整備となると財源も必要ですし、支援員の確保もとなると一気に進められない。桔梗が丘小については、本当に場所がないので、上の学年で制限しているのもやむを得ないところです。

○ つつじが丘小もそうです。上の学年で制限がかかっています。

○ 低学年は入れるけれど、高学年は入れない。兄弟でも下は入れるけれども上は一人で家に帰らせるのはどうなのか。兄弟であれば入れるのがよいなと思います。

委 他にはありませんか。では次の案件にいきます。

(3) ばりっ子会議から市政への提言について（資料3）

*事務局説明 <省略>

委 ありがとうございます。今年から皇學館大学の協力を得ることができ、非常にありがたいと思います。『かたやきアイス』についてですが、これを給食で出すというのはどうですか。（*注 なばり名物のかたやきを混ぜ込んだアイスクリームを作って売り出してほしい）

○ アイスは給食で出ることもあるので、給食に出すことへの抵抗は全然ないです。ただ、小麦や卵、乳のアレルギーを持つ子どもがいるので、その子どもへの対応、代替品をどうするのか。やはりアイスはみんなに食べさせてあげたいが、アイスクリーム自体の問題はクリアできると思いますが、かたやきが小麦粉と卵でできていますよね。

⇒ そうです。

○ 卵や小麦のアレルギーを持つ子どもは結構多いんで、代替品があるほうがよい。子ども達が自身で考えたものであるとアピールしながら、アレルギーを持つ子に対する見方もかわってくるかなとも思われ、広がりのある取り組みだと思います。

また、小学校の勉強で地域を学ぶ「なばり学」はとても楽しみにしています。

〔委〕 その「なばり学」で子どもの権利の項目を入れるというのは、どうなっていますか。

⇒ 人権のところに、少しだけ入っています。協議いただいたことをそのまま教育委員会にあげたのですが、やはりページ数の関係で難しいとのことで、すべてを掲載することはできませんでした。

〔委〕 提言についても、少しずつ子ども達が夢を語ったり、自分たちの生活に戻ってくるような意見がどんどん出てきたらよいなと思いますので、ぜひとも来年以降も皇學館大学の学生たちの力をお借りしたいと思います。

⇒ アレルギーの件を産業部の担当者とも話したのですが、かたやきがそもそも小麦粉で出来ているものだから、なかなか難しいという事でした。

〔委〕 子ども達に楽しんでもらえるのが一番かと思いますので、よろしくお願いいたします。

（４）その他

〔委〕 ひとつ良いですか。医療機関にはリーフレット置いていますか。

⇒ まだですね。

〔委〕 計画はありますか。

⇒ 図案の方は、できあがっています。

〔委〕 早く配布していただけたら、と思いますのでよろしくお願いいたします。

他にないようですので、これで終わらせていただきたいと思います。

本日も議事進行ご協力ありがとうございました。